

影絵劇団かしの木による

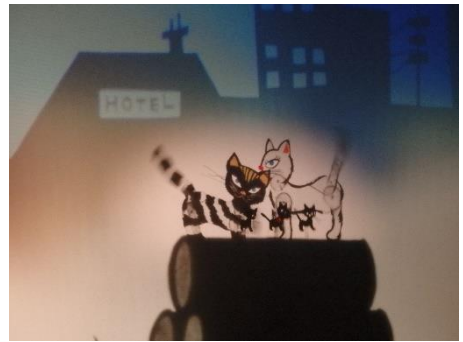
生演奏でおくる音楽影絵劇「100万回生きたねこ」



墨田区では、毎年各校で演劇鑑賞教室を実施しています。区から補助金が出るので、学校規模に関わらず全児童が同じ金額で鑑賞ができます。今年も、7月18日(木)に影絵を楽しみました。第一部では「小さなコンサート」として「この木なんの木メドレー」の演奏に合わせて子供たちも一緒に歌い、とても楽しい時間となりました。

人形の動かし方も教わり、代表児童が挑戦しました。初めてにしてはとても上手に動かしていましたが、細かい動きは難しかったようです。

第2部は、影絵での「100万回生きたねこ」でした。生演奏と語りの中で影絵が動き、お話が進むにつれて、子供たちはどんどんお話の世界に入っていました。感想には、生演奏や影絵に心ひかれたこと、人形の動かし方に興味をもったこと、ねこの生き方に思いを寄せたこと等が書かれていました。



4年生対象「ニッセイ名作シリーズ2024」

6年生対象「こころの劇場」

5月には6年生が「大ガンバの冒険」を、7月には4年生が「ジャック・オー・ランド〜ユーリと魔物の笛〜」を観に行きました。6年生は、「俳優さんの一糸乱れぬ動きのように、自分たちも運動会で演技をしたい」との感想をもちました。4年生は、相手を信じる気持ちに感動し、涙する場面もありました。

本物との出会いに、子供たちは心を揺さぶられたようです。お話の世界、演劇の世界に浸り、感動する体験はきっと心を豊かにしてくれたと信じています。

